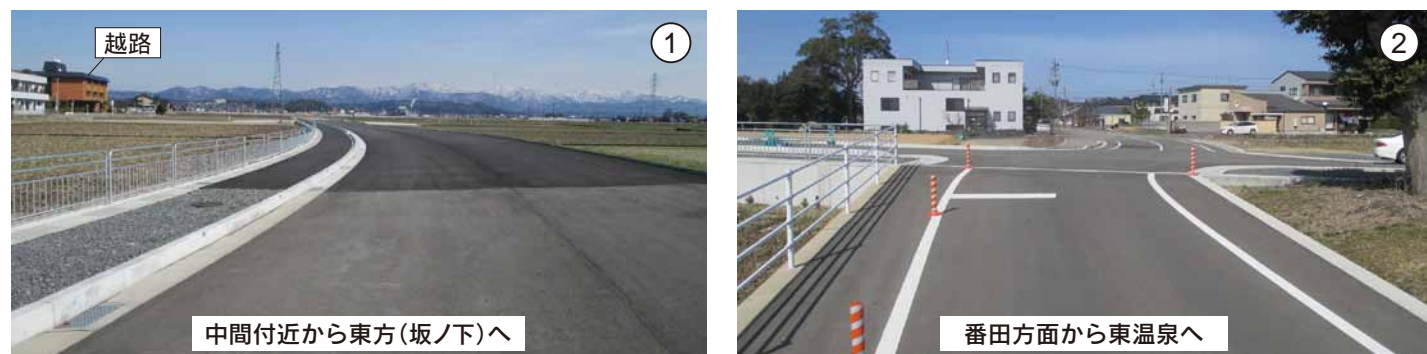


地域の要望に応えた仕事

あわら市からの要望を受けて、市道「金津 - 三国線」(現・木村病院前の道路)を県道に昇格させ、えちぜん鉄道に交差して芦原街道まで結節する新しい県道「都市計画道路・金津 - 三国線」の建設を平成22年から進めてまいりました。この度、県から踏切工事がえちぜん鉄道に委託され、軌道築造工事と電気設備工事が既に発注され、地権者との用地交渉も全て完了し、平成29年度内に全線開通する運びとなりました。また、えちぜん鉄道以西は芦原小学校への通学道となるため重義区や番田区からのご要望に応じて、歩道を整備しますし、信号の新設も強く要望しております。この道路が、観光道路、生活道路、通学道路として市民や観光客の皆様から大いに喜ばれることを願って、ご報告させていただきます。また、北湯湖の護岸工事、山室区の道路冠水を解消する雨水処理工事、北陸新幹線の柿原トンネルや新竹田川橋の工事も進んでおります。



▲県道 金津 - 三国線の平面図



▲新年度完成予定の新しい県道「都市計画・金津 - 三国線」



▲北湯湖の鷺の浦湖岸補強工事 ▲山室 - 菅野雨水幹線工事(菅野) ▲北陸新幹線・柿原トンネル工事(柿原)

GO! FORWARD

発行日 平成29年3月25日
発行所 笹岡一彦 福井県あわら市春宮一丁目5-14
TEL&FAX 0776-73-7105
www.sasaokakazuhiko.net



笹岡一彦 県議会報告 平成29年 春号

一般質問に立ち、「原子力レスキュー隊」「北陸新幹線」「農業問題」「開花亭再生問題」について、積極的提言を行う。知事や関係部長も、今まで以上の前向きな答弁を返す!



▲本会議場において正々堂々と一般質問をする

特急存続は与党議論を見極める
議論を見極める
笹岡一彦議員 (無所属)
①北陸新幹線敦賀開業後、福井駅までの特急存続への考えは、(2)ポストは、(1)の行程表を示しては、知事 (1)特急存続は新幹線の収入に影響し、整備財源に困る。貨物線路使用料の減少など並行在来線の経営にも影響を与える。国交省の考えや与党の議論を見極める必要がある。
中村農林水産部長 (2)2017年度の生産量は最大で600ト。18年以降は毎年増やし、作付面積や生産量などは農家に情報提供し、P.V.

▲ポストこしひかりの作付法を質す

2月22日、一般質問に立ちました。議長に就任してからは後輩の質問枠のために遠慮すべき立場にありましたが、会派の縛りがなくなったことで4年ぶりの一般質問ができました。今回は、私が12年間にわたって求めてきた「原子力レスキュー隊」が昨年末に美浜町に誕生したことから、原子力レスキュー隊の拡充のために補完すべき点や国立に昇格すべきであることを訴えました。また、北陸新幹線開業後の県民の利便性確保のために特急サンダーバードやしらさぎを、金沢や富山まで乗り入れ存続させるよう全県を挙げて、北陸3県一致団結して取り組むべきと主張いたしました。農業では、集落営農組織の合併等の再編促進、土地改良補助金の大幅減額に対する県の対策、減反廃止後の生産調整策、ポストこしひかりの作付けの徹底化、そしてあわら温泉の開花亭旅館の再生について県のバックアップを求めるなど計12問を質しました。

知事からの答弁としては、「原子力レスキュー隊の機能が向上していくようバックアップ基地や資機材やロボットの拡充などを国に強く求めていきたい」との事でした。また、在来特急の存続については、「大阪までの建設財源となるJRからの貸付料や3セクの収入となる貨物線路使用料が減少するためなかなか難しい」との答弁でした。

農業問題では、「新たに集落営農組織が合併した場合には、トラクターやコンバインなどの農機及びハウスなどの施設等に対して、県が1/3～2/3の補助制度を創設する」との答えを引き出すことが出来ました。

開花亭再生については、「まずは市の構想が重要で、県としては情報提供などで市に再生を促していきたい」との答弁でした。

論戦の焦点

北陸3県結束 働き掛けを
敦賀開業後の特急乗り入れ
2023年春の北陸新幹線敦賀開業後も福井駅までの特急サンダーバード乗り入れを福井市が求めていることを受ける「フリーエージェント」

は、(笹岡一彦議員(無所属)は西川知事に現状認識と今後の方針をたずねた。敦賀開業時に大阪・富山間で乗り換えなしで運行する方針を示したが、開業が難航し、JR西日本社長は23年春に間に合わせるのは無理だと言及している。国は約束を守れないなら責任を負うべきであり、地方に負担を求めず、筋道よく、福井県を含む北陸3県には国に代替措置を求める(一致団結)敦賀駅での乗り換え利便性の確保と特急存続を国に働き掛けを促した。知事 与党検討委員会は国士交通省に対し、JR西と協議し、F&Tの開発を見直すかどうかの回答を求めている。状況 議論を見極めたい。(笹岡議員 鯖江だけの問題ではない。F&Tの始発終着駅として、富山駅以西は在来線の経営を十分に考慮した上で県民利益をどう最大化するかを検討していくべきもの(大谷貴洋)

原子力救援施設 国立昇格求める
笹岡一彦議員(無所属) 美浜町で昨年12月に運用が開始した「美浜原子力緊急事態支援(原子力レスキューセンター)」は、サイト内だけが守備範囲で、周辺住民の救助は目的外な(2)国立に格上げし、国が責任を

持つて予算を付けて機能拡充すべき。知事の所見は、知事 (1)住民避難などのオフサイト対応への従事は想定されいないが、自然災害や毒物漏れなど特殊災害への対応も有効活用が観点で必要と考える(2)災害ロボットなどの技術開発に対し、国の支援を引き続き強く求める。

原子力レスキュー隊の国立化を訴える
持って予算を付けて機能拡充すべき。知事の所見は、知事 (1)住民避難などのオフサイト対応への従事は想定されいないが、自然災害や毒物漏れなど特殊災害への対応も有効活用が観点で必要と考える(2)災害ロボットなどの技術開発に対し、国の支援を引き続き強く求める。

敦賀開業後の特急乗り入れ 2023年春の北陸新幹線敦賀開業後も福井駅までの特急サンダーバード乗り入れを福井市が求めていることを受ける「フリーエージェント」

は、(笹岡一彦議員(無所属)は西川知事に現状認識と今後の方針をたずねた。敦賀開業時に大阪・富山間で乗り換えなしで運行する方針を示したが、開業が難航し、JR西日本社長は23年春に間に合わせるのは無理だと言及している。国は約束を守れないなら責任を負うべきであり、地方に負担を求めず、筋道よく、福井県を含む北陸3県には国に代替措置を求める(一致団結)敦賀駅での乗り換え利便性の確保と特急存続を国に働き掛けを促した。知事 与党検討委員会は国士交通省に対し、JR西と協議し、F&Tの開発を見直すかどうかの回答を求めている。状況 議論を見極めたい。(笹岡議員 鯖江だけの問題ではない。F&Tの始発終着駅として、富山駅以西は在来線の経営を十分に考慮した上で県民利益をどう最大化するかを検討していくべきもの(大谷貴洋)

▲私の一般質問を5段抜きの困り記事で大きく報じる新聞

